

I 訓練内容・主なカリキュラム・取得可能な資格など

木造建築科

3年

熟練大工をはじめとした指導員から技能継承を行い、木造建築の基礎から技能の習得を図ります。  
2級技能士（建築大工）の合格を目的とした3年間の訓練（実技および学科）により、木造家屋建築の技能を習得を目指します。

とび科

2年

2年間の訓練（実技および学科）で足場作業の基礎はもとより総合的なとび職の技能の習得を図ります。  
2級技能士（とび）の合格を目指します。

配管科

3年

2級技能士（配管）の合格を目的とした1年間の訓練（実技および学科）により、配管作業に必要な技能を習得します。

II 訓練校の声

訓練生は、各事業所で働きながら訓練に励み、技術を習得します。  
普通課程を修了すると技能士舗の資格（技能検定2級の学科試験免除）が取得できます。  
複数の事業所から訓練生が集まり、目標を持って訓練に取り組みることにより、人材確保につながります。

IV 訓練の様子・訓練風景など



↑木造建築科では女性の訓練生もいます。



↑とび科の技能照査の様子です。



↑配管科で2級技能士の習得中となります。



↑外観。駐車場完備のため車での通学OKです。